

# 放課後子どもプラン

学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業

県中地区研修会

主催 福島県教育委員会

## 『明日からの活動をパワーアップ！ 子どもたちとの楽しい活動のために』

7月30日(水)、天栄村の「文化の森てんえい」「天栄村体育館」を会場に県中地区の研修会を開催いたしました。放課後子ども教室関係者、児童クラブ関係者、市町村の教育委員会関係者等、総勢42名が参加しての研修会となりました。

発達障がいについての理解や日頃感じていることについての情報交換、さらには「平成24年度優れた『地域による学校支援活動』推進にかかる文部科学大臣表彰」を受賞されている本宮市ぬかざわ遊友クラブの実践、簡単にできるレクリエーションなどについて研修を行いました。

放課後子ども教室・児童クラブでの子どもたちとの関わり方や活動の充実のために有意義な研修となりました。

### 講演「気になる子ども理解と支援」

講師：郡山女子大学短期大学部 准教授 小林 徹 氏

発達が気になる子どもたちの特徴や学校生活などでうまく適応できない理由、知的障がいや学習障がい・ADHDなどの発達障がいについて、それぞれの定義や特徴を経験を交えながら分かりやすくお話しいただきました。また、集団の中での支援・配慮事項として、発達障がいの特性と一人ひとりの個性に配慮し、どうすれば活動で活躍できるか考えていくことが大切である。子ども自身も思いがけない結果に驚いたり、どう行動すればよいか分からなかったりしていることを理解し、対応していくことが大切であることなどを学ぶことができました。



### 情報交換・交流会「よりよい関係づくりのために」

5つの班に分かれ、各地区の放課後子ども教室のコーディネーターの方や行政の方に進行役をしていただき、情報交換を行いました。

関わっている子どもたちの現状や放課後子ども教室や児童クラブの実態・課題等について活発な意見交換がなされました。同じような悩みに共感したり、貴重なアドバイスをいただいたりと、充実した時間を過ごすことができ、参加者からは「もっと時間があるとよかった。」などの感想も寄せられました。



## 事例発表「本宮市ぬかざわ遊友クラブの取組」

講師：ぬかざわ遊友クラブ コーディネーター 国分 進氏



今年で11年目をむかえた「ぬかざわ遊友クラブ」では、「あそび・なかま・見守り」という基本的な考え方のもとスタッフが協力して、子ども教室が貴重な体験や遊びの場となるよう工夫して取り組んでいます。

発表の中で、実際にクラブで行っている子どもたちを引きつけるためのゲームや活動プログラムに入っているブーメランづくりを実演してくださいました。また、すべてを大人がやるのではなく子どもたちに考えさせたり、子どもたちのアイデアを取り上げたり、繰り返し挑戦させたりしているなど、参考になる実践をたくさん発表していただきました。

## 演習「すぐにできる楽しさいっぱいのレクリエーション」

講師：郡山市レクリエーション協会 会長 国馬 善郎氏



30度を超える気温の中、てんえい子ども教室の子どもたちと一緒にレクリエーションを行いました。国馬先生の巧みな話術で進められるレクリエーションに、先生も参加者も汗をたくさんかきながらも笑顔いっぱいの時間を過ごすことができました。演習終了後には、国馬先生に個別に教えていただく参加者もあり、次に生かせる演習となりました。

### <参加者の声>

- 先生のお話がとても分かりやすく障がいのある子に対しての関わり方を改めて考えさせられ、とてもためになりました。
- 皆さんからいろいろな悩みが聞けて同じような事例があったので少し肩の力が抜けました。
- 時間がもう少しあったらいいなと思います。話し合いを多く持ちたかったです。
- 簡単にできる工作、是非すぐにやってみたいです。夏休み中は1日中子どもたちが活動しているのでパッと準備できて、すぐにやれるのがいいですね。
- 楽しいレクリエーションを学べてよかった。今後に生かせる内容だったと思う。
- 今回はとてもバリエーションにとんでいて、一つ一つの時間は短かったが良かったと思う。
- ゲーム機、携帯、パソコンに依存する弊害や問題等に関する内容についても研修してみたい。